

すくわくプロジェクト～せかいタッチ～

令和7年度 みらいく南大泉園

対象年齢:4・5歳児クラス



10/6 初めてのせかいトーク

“マグー”というキャラクターに外国の挨拶や

日本の伝統的な食べ物・スポーツを教えてもらいました。

英語で身体の部位を言いながら踊りました。



会終了後には感想を書きました。

“楽しかった”という感想が多く、具体的な内容まで思いつかない様子。

半年後もう一度感想を書く機会がある。その際子どもたちの世界への気づきや興味がどのように広がっているのか…

子どもたちはまだ、“せかいタッチ”がどのようなものかわかっていない様子。



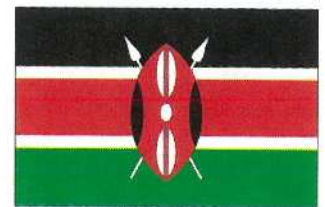
ケニア



導入としてケニアについてのクイズを行なった。

マグーに挨拶を聞かれると、「ジャンボ！」と自信満々に答えていた。

ケニアの鳥、フラミンゴの真似をして片足でバランスをとるゲームに意欲的に参加していた。



ケニア

10/22 ケニアパーティー(zoom を介して現地の子ともと会う)

ケニア人と自分たちの肌の色の違いに気づく子どもがいた。

時差があることを知る。

暑い国であることを知り、地球儀を用いて赤道や世界の気候に興味
が湧いたようだ。

ケニアのダンスを一緒に楽しんだ。

ケニアの国旗や地図上の位置を覚え、保護者に教える姿があった。



↓ケニアの子ともと好きな遊びを共有した。鬼ごっこやサッカーをする
と聞き、親近感を抱いていた。



シンガポール



11/14 シンガポールパーティー

2回目のパーティーということもあってか、前回よりも意欲的に参加していた。マグーにもすっかり親しみをもっている。

シンガポールには冬がないことを知り、驚く。

ドリアンの匂いに興味津々だった。



子どもたちのドリアンへの興味を受けて園で乾燥ドリアンを購入。

実際に匂いを嗅いでみると、「臭い」と悶絶する子や、「全然大丈夫」と臭さに耐性がある子がいた。

この活動をきっかけに園庭で園庭や公園で捕まえたカメムシの生態を調べ、匂いを嗅ぐという興味に発展した。

せかいアート



12/1 日本人美術講師を招いてのせかいアート

様々な国旗が飾られ、知っている国名を答える。せかいタッチの取り組みを始めてから地図や地球儀を見る機会が増えたのか、積極的に挙手する子が多かった。

それぞれの国の国旗の意味を知るきっかけとなった。



画用紙や折り紙など様々な素材を用いてオリジナル国旗製作に取り組んだ。

紙を切ったり貼ったり、思い思いに作り進め、最後に自分の作った国旗に名前をつけ発表した。



頑張った部分やお気に入りの部分を自分の言葉で表現し、自信をもって作ったものを発表していた。他児もそれを受け止め、拍手を送っていた。

インド



2/12 インドパーティー

マギーとのやり取りも慣れたもの。
事前学習で学んだ「ナマステ」の挨拶を
現地の友だちと元気よく交わしたり
ヨガのポーズに挑戦したりした。



せかいレッスン

3/10 せかいレッスン

ケニア人講師を招いて
民族衣装を着たり、製作したりした。



ケニアでの有名なスポーツや、好きな食べ物などを質問し、親しみをもって講師とかわる姿が見られた。

交流後もケニアの国旗をお絵描きするなど興味関心を強く持ったようだ。

せかいボックス

計3回マグーから世界の玩具や楽器、民族衣装や絵本が届く。



ボックスが届くたびにワクワクした表情で開封していた。
作った玩具や楽器で遊ぶことも楽しんだ。



一通り触れたあと、園エントランスに届いたものを配置した。

対象年齢時以外も興味をもって触れる姿があった。また、送迎時に保護者も一緒に触れる姿もあった。

実際に作ってみたり現地のホンモノに触れたりすることで一層その国への興味関心が増したようだ。

せかいトーク



月に一回(計6回)マギーとの英語レッスン

Zoom カメラ前に立って教えてもらった簡単な英語の文章を話します。(例:Hello. How are you? I'm~)

最初の頃は恥ずかしがる姿があったが、回を重ねるごとに積極的に前に出て発言しようとする姿があった。

生活の中で覚えた文章を口にする姿があり、英語への関心の高まりを感じる。

まとめ



↑(左)3月末 (右)10月初回時↑

「せかいってどんなの?」というテーマで絵を描いた。半年の活動を通して実際にzoomで学んだ国の国旗を描く子が多く、印象に残ったようだ。

半年の活動を通して、外国の言葉や文化に触れたり、実際にzoomを介して外国の人と会話をしたりしたことで、世界の文化に親しみをもつきっかけとなったようだ。

教えてもらった言語を友だち同士で交わしたり、保護者に教えたりする姿もあり、学びが身についたと感じた。

また、世界だけでなく日本の文化にも目を向けるきっかけになり、書初めや竹とんぼ、独楽回し、けん玉など日本の伝承文化にも興味をもち遊びを楽しんだ。